

カミノトピックス



活用して、万が一に備えましょう。

2010年1月12日ハイチ共和国でマグニチュード7.0の地震が発生し、20万人以上の方が被災し、現地では今なお復興支援が続けられています。また、先日27日にはマグニチュード8.8のチリ大地震が発生しました。

これは、どこか遠くで起きた出来事のように思いがちで、自分とは縁が薄いように感じてはいませんか。でも、いつか自分にも起こりうるかもしれない現実なのです。そのためにも、災害が起きたとき自分はどうのように行動するのか。どのような備えをしておくべきか等はとても重要な事なのです。

本年4月24日に『千歳市防災学習交流センター（愛称そなえる）』がオープンします。この施設は、災害に強いまちづくりを目的とした防災拠点施設で、地震や火災などの災害時を想定したさまざまな体験や訓練をすることができます。

今回、弊社も施設造りの一部に参加させていただくことが出来、物品などの納品時に施設内を見学させていただきました。地震体験装置や煙避難体験が出来るコーナーなどがあり、見学しているとき、心と以前自分が体験したことを思い出しました。それは、かなり前のことですが、一人で過ごしているときに地震がありました。多分震度3くらいだったかと思いますが、一人で怖くてどうしていいかわからず、目の前にあった花瓶を持って揺れの起きている最中に外に飛び出てしまいました。幸い怪我也被害もありませんでしたし、花瓶も壊れることはありませんでした。今考えてもなぜ花瓶を持ち出したかわかりません。知識も備えも無いとこのように気が動転したままの行動をするのかも知れませんね。

皆さんの家庭では、災害の対策をしていますか？
家族で避難経路の確認や、行動の確認をしていますか？
是非この機会に新しくオープンする施設を利用して見て、
万が一に備えてはいかがでしょうか。（談：兼澤）



先生たちも勉強しています。

今年度、国のICT活用推進事業費を利用して、千歳市内の全小中学校に電子黒板が配備されました。電子黒板（e-黒板とも呼ばれています）は、パソコンの画面を黒板やプラズマディスプレイなどに投影し、その板面をあたかもパソコンの画面上でマウスを使っているかのように専用ペンなどで操作できる機器で、共通理解が必要な場面で一斉に大型スクリーンでの解説・提示が可能なることから、近年、教育現場を中心に導入が進んでいます。

千歳市は、千歳科学技術大学が研究開発を行っている「e-ラーニング教材」の中で小・中・高等学校での授業や家庭学習などで活用されていますが、電子黒板と組み合わせることによって、コンテンツのアニメーションや動画による説明、画面での直接提示により、生徒たちの理解をより深めることができると考察されています。

より多くの先生が活用できるよう千歳市教育委員会の主催で講習会が行われ、この2月に3回、延べ160名の先生が参加されました。

すでに実際に授業で使っている学校の先生からは、「子どもたちは、教師の説明を聞きながら黒板を見たり、教科書を読んだり、資料を読み取ったり、沢山の活動をしています。電子黒板を見ながら学習することで、一つの画面に全員が集中して学習に取り組むことが可能となります。注意が散漫であったり、同時に作業することが苦手な子どもには大きな効果をもたらすものと考えています。」といったご意見もいただいています。

弊社も、導入いただいたことが終わりではなく、今後においてよりご活用いただくために先生方に負けないよう社員もスキルアップしなければ！と決意を新たにしました講習会となりました。（談：後藤）



熱心に受講している先生たち。講習後も実際に使って勉強していました。

印刷はカラーで...

2月16日・17日の両日『RISO 印刷機ミニ展示会』を開催しました。

今年1月に業界初のA3両面印刷機「RISOGRAPH MD6650」が発売され、北海道では2番目に展示することができました。同時にフルカラー印刷機「ORPHIS X9050」も体感していただきました。

MD6650は、2色印刷も可能で、モノクロ原稿を範囲指定してカラーにすることも出来ますし、USBメモリからの出力も可能です。

展示しました2機種は、印刷も高速で、1分間に100枚以上の印刷を可能としています。

カラー化が進み、カラー印刷による効果や経費などについて、日々の業務の中では重要で難しい問題ですが、展示しました機種は、印刷経費ばかりでなく、時間の経費についても効果を生み出すことができる印刷機となっています。デモ貸出もしておりますので、カラー印刷の出来ばえと時間を実感していただければと思います。



強力な助っ人です！

「RISO（リソー）」と言えば、「プリントゴッコ」を最初に思い出す方が多いのではないのでしょうか。

今回ご紹介する理想科学工業株式会社は、「世界に類のないものを創る」という創業以来一貫した開発ポリシーのもと、孔版印刷業からインクを開発・製造し、印刷機本体を開発する印刷に関してのスペシャリストです。このお客様にはここを重点としたこの機種で、こういった使い方が出来るからこの職種にはこの機種でと、自社機を知り尽くしています。

今回の展示会も、当社担当の森下敦さん、前担当の尾中勉さんに多大なるご協力をいただきました。

特に「RISOGRAPH MD6650」については、今年1月に発売されたばかりで、なおかつ北海道で2番目の展示会となりました。サービス担当の加藤憲一さんには搬入設置のお手伝いのほか、当日は、機械の構造を説明していただき、なぜこのようなことが出来るか勉強させていただきました。印刷の強力な助っ人です。



尾中さん 森下さん 加藤さん

ECOの時代です。

2月4日、Kapass 店において『ECOミニ展示会』を開催しました。

今年1月14日より、温暖化防止のための国民的運動「チャレンジ25キャンペーン」が始まりました。まずは、身近ですぐにでも実行可能な「CO₂削減と経費削減」のご提案ができればと企画してみました。

実物を見ていただき方にお話を伺うと、電気量削減によるCO₂及び経費削減を重要課題としているお客様が多く、熱心に説明を受けていました。また、消防法改正により、蓄光型の防災表示板もかなりの問い合わせがありました。他にも廃油をつかったストープや、オールシーズン対応ワイパー（エコワイパー）も人気で、将来は身近な商品になるであろうと思われました。

LEDや省エネ型電球も急速に普及してきています。検討されている、検討しなければとお考えのお客様には、現在との対比表をご用意しておりますので、是非、未来の地球のために一緒に考え手見しましょう。お声をかけてください。



LEDランプです。
現在 Kapass 店で
展示中です。



ほんの少しの変化ですが

弊社は、昨年10月から始まった新しい期（第47期）の中の取り組みの一つとして、ご注文いただいた商品を少しでも早くお客様にお届けすることをテーマとして物流の改善策を検討して参りました。

検討する中で、取引メーカーさんや問屋さんの物流システムや配送の時間的制限、商品保管倉庫の所在場所などの諸条件の課題をクリアする必要性がありました。これら諸課題はメーカーさんや問屋さんのご協力をいただくことができ、第1弾として文具・事務用品の一部について弊社の配送便を活用し、札幌にあるメーカーさんの物流倉庫まで引き取りに行っております。

本社を出発した配送車は恵庭、北広島のお客様に商品をお届けした後、札幌の物流倉庫に向き注文品を荷受する試みで、従来のメーカーさんの配送スケジュールよりも早く注文品を荷受する事ができるという配送の改善策であります。まだ、2週間程の短い期間ではありますが、お客様にお届けするまでの時間が従来よりも短縮になっていると実感しています。

今回の試みは、ほんの少しのスピードアップかもしれませんが、お客様のご要望に少しでも早くお答えする事が出来るよう、社員一丸となって努力を重ねて参りますので、これからもご愛顧のほど宜しくお願いします。

このように納品しやすく仕分け → されています。



2010年 2月 28日 VOL. 56

発行元：(株)カミノ

TEL：0123-23-4255 / FAX：0123-24-1381

e-mail：kamino@rose.ocn.ne.jp